

春かぼちゃ

生産目標		栽培の要点		摘要																									
1. 多収量、高品質、完熟を目標とする。 1) 大玉生産 - 1玉1.5kg以上 2) 完熟(着果後45日で収穫し、その後2週間程度追熟を行う) 3) 果面全体濃緑に仕上げる - 台座を必ず敷く																													
月	旬	作型	主要作物	栽培の要点																									
1	上		播種	1. 品種 えびす、らいふく、こふき	親床面積 ト口箱5箱/10a 鉢上げ床面積 12㎡/10a 施肥例(10a当り)																								
	中			2. 播種 ・ト口箱に条まき 6cm×1.5cm 1箱(2a分)150粒 (播種 覆土 鎮圧 かん水 新聞紙で覆う)																									
	下			3. 温度管理 播種 発芽まで地温25～28 (地温35 以上になると発芽不揃いを起こす) 発芽 鉢上げまで夜地温18～25																									
2	上		鉢上げ	4. 鉢上げ ・鉢の大きさ4寸(12cm) ・子葉展開時鉢上げする(本葉1～1.5葉)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>肥料名</th> <th>基肥</th> <th>追肥</th> </tr> <tr> <td></td> <td>kg</td> <td>kg</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>完熟たい肥</td> <td>####</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なたね油粕</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミネリンパワー</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>IB化成S11号</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>燐硝安加里S645</td> <td>40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>NKC3号</td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	肥料名	基肥	追肥		kg	kg	完熟たい肥	####		なたね油粕	100		ミネリンパワー	100		IB化成S11号	40		燐硝安加里S645	40		NKC3号		20
	肥料名			基肥		追肥																							
				kg		kg																							
完熟たい肥	####																												
なたね油粕	100																												
ミネリンパワー	100																												
IB化成S11号	40																												
燐硝安加里S645	40																												
NKC3号		20																											
中	・鉢上げ時の夜の地温は20 ・日中気温が25 以上にならないよう換気する。 ・苗のならばは定植7～10日前(夜地温12～13)																												
下	5. 定植準備 ・本圃は地温確保のためトンネル、マルチ張りは定植10日までに終了する。また本圃地温が15～16 になるのを確認後定植する。																												
3	上		定植 霜害対策 (パスライト 使用)	6. 定植 ・育苗日数40日前後、本葉5枚で摘芯して定植する。	交配については、確実にに行わせる ため人工交配を実施する。 花粉が完全に発生してから、雌花の 柱頭にまんべんなく付着させる。 開花前より保温に努め、開花及び 花粉の発生を促す。																								
	中			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>トンネル</th> <th>畦幅×株間</th> <th>10a当り本数</th> <th>仕立て方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9尺</td> <td>3m×60cm</td> <td>550本</td> <td>2本仕立て</td> </tr> </tbody> </table>		トンネル	畦幅×株間	10a当り本数	仕立て方	9尺	3m×60cm	550本	2本仕立て																
	トンネル			畦幅×株間		10a当り本数	仕立て方																						
9尺	3m×60cm	550本	2本仕立て																										
下	7. 温度管理 ・定植後活着までは密閉気味とし、活着後は換気を行い、外気に 馴らしておき4月下旬ごろトンネルを除去する。(生育適温20～25)																												
4	上		開花・交配	8. 整枝 ・ツルが60cm位伸びた頃から着果節位(12～13節)まで早めに 子づるを除去する(着果不良を防止のため)	整枝時期が遅れると、生育が 遅れると同時に着果節位の着果 が不良になる。																								
	中			9. 敷きわら ・ツルの安定生育と泥はね防止のため、敷きわらを行う																									
	下			10. 着果 ・着果節位は12、13節を目標とし、1つる2果とする。 ・交配はみつばちが飛び始めるまで人工交配する。 (交配は午前8時までには終る)																									
5	上		トンネル除去 追肥	11. 追肥 ・追肥は1番果の着果後に行う(着果確認後に早めに行い草勢を見て 必要であればその後も行う)。	10節以下に着果すると、生育が遅れ 変形果が多くなる。																								
	中			12. 玉直し ・品質向上のため必ず台座を敷き、玉直しを行う。																									
	下			13. 収穫 ・着果後45日で収穫し、その後2週間程度追熟する。																									
6	上		台座敷き 玉直し	14. 収穫調整 ・収穫後、果梗は5mm程度に短く切り風乾する。	うどんこ病・疫病等病害虫は初期 防除に努め、蔓延させて草勢を 落とさないようにすること。																								
	中																												
	下																												
6	上		収穫 追熟																										
	中																												
	下																												